

2017年2月2日

株式会社システム情報

<http://www.sysj.co.jp/>

「IBM Watson IoT Platform パートナーエコシステム」へ参画

株式会社システム情報（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鈴木隆司、JASDAQ：3677）は、日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都中央区、以下 IBM）が展開する IoT 関連サービスの基盤となる「IBM Watson IoT Platform」(*1) を活用するエコシステムプログラム「IBM Watson IoT Platform パートナーエコシステム」(*2) への参画を決定し、エンタープライズ領域を中心に各企業のコグニティブ・サービスのサポートを強化することと致しました。

人工知能（AI）ビジネスは、既に金融、製造業を中心に規模が拡大しており、2015年度の国内市場規模 1,500 億円が、2020年度には 1 兆 20 億円に、2030年度には 2015年度比 14.1 倍の 2 兆 1,200 億円に拡大するものと予測されています。(*3)

AI ビジネスとは、AI を使った分析サービスや AI 環境を構築するシステムインテグレーション、AI に関連したハードウェアなどを含みますが、その中で、当社が戦略的に目指すものは、単なる AI 技術の活用に留まらず、モノを中心とした IoT システムとヒトの見る・読む・聞く・考える・話すサービスを代行するコグニティブ・システムを融合した新しいサービス・メニューの構築です。

当社では、CMMI レベル 5（最高の成熟度）を達成しているシステム開発実績を活かし、「IBM Watson IoT Platform パートナーエコシステム」上の様々な企業（製造業、医療／ヘルスケア業など）との協業を通じた IoT システムと連携するサービスの提供を推進してまいります。

なお現在、金融、医療分野の AI 関連のシステム開発案件をすでに受注し、開発を進めております。今後さらに営業・開発体制を強化し、事業規模を拡大してまいります。

(*1) 「Watson IoT Platform」

IBM の PaaS(Platform as a Service)である Bluemix 上で提供され、Watson IoT Platform を活用することで、様々なデバイス、センサーおよびゲートウェイなどを安全かつ簡単に接続できます。また、Watson によるコグニティブ技術など Bluemix 上で提供される豊富な API との連携が容易であり、IoT 導入スピードが高まります。

(*2) 「IBM Watson IoT Platform パートナーエコシステム」

IBM の IoT クラウドサービス「Watson IoT Platform」を活用し、ハードウェア、ソフトウェア、クラウド、インテグレーションなどの IoT バリューチェーンの中で様々な役割を果たすビジネスパートナーの先進ソリューションをサポートするエコシステムプログラム。

(*3) 出所

「2016 人工知能ビジネス総調査」まとまる（富士キメラ総研・2016/11/28）

<お問合せ先>

株式会社システム情報 経営管理部・IR 室

電話番号：03-5547-5705

E-mail：ir@sysj.co.jp